



札幌大学孔子学院
062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1

道民カレッジ連携講座

平成30年4月吉日

2018年度

孔子学院連続講座～現代中国の経済と社会を知る～

札幌大学孔子学院は、13億の人口を擁し、改革開放30年を経て今やGDP世界第2位の経済力を持つに至った大国「中国」の経済、社会、文化などに関わる諸問題について、毎回さまざまな視点から解説する、現代中国の経済と社会を知る連続講座を開催します。

講師陣は、経済学、経営学、異文化コミュニケーション等の領域における気鋭の研究者です。是非、お申し込みの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日時：(1)平成30年5月14日(月)10:40 修剛氏(天津外国語大学教授)

演題「中日異文化コミュニケーション--同と異のとらえ方」

※ 講演言語は日本語です

(2)平成30年6月1日(金)16:30 平井 貴幸(札幌大学女子短期大学部助教)

演題「訪日中国人観光客の動向を探る」

※ これ以降も開催致します。詳細が確定次第、改めてご案内致します。

会場：(1)札幌大学 6101教室(6号館1階)

(2)札幌大学 6102教室(6号館1階)

演題等：各回の演題、講師紹介は添付詳細資料をご参照ください。

募集人数：各回80人 ※ 参加料無料

■□ 申込方法 □■

①氏名 ②性別 ③年齢(何歳台) ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を明記し下記にEメールまたはFAXでお申し込みください。

■□ 申込締め切り □■

第1回目締切 5月10日(木)17:00必着

第2回目締切 5月29日(火)17:00必着

※ 定員になり次第締め切らせていただきます。

※ 一度に全ての受講をお申し込みされることも可能です。

■□ お問い合わせ先・申し込み先 □■

札幌大学孔子学院事務局(札幌大学図書館2階閲覧フロア内)

(土日祝日を除く 月～金 9:00～17:00)

TEL 011-852-9754 / FAX 011-852-9362

HP <http://www.sapporo-koshi.jp>, E-mail: su-koshi@ofc.sapporo-u.ac.jp



〔演題、講演要旨、講師紹介〕2018 年度孔子学院連続講座～現代中国の経済と社会を知る～

第 1 回 平成 30 年 5 月 14 日(月)10:40～

演 題 : 中日異文化コミュニケーション
——同と異のとらえ方
講 師 : 修 剛 (Xiu Gang) 氏
(天津外国語大学 教授、元学長)



※ 講演言語は日本語です

講演要旨 :

中国と日本の関係は、これまで、同文同種、一衣帯水と例えられる一方、脅威の国、侵略を反省しない国との批判も鋭く、相手国への好感度が下がる一方である。

そもそも両国、両国関係、国民同士の感情を考えると、中日交流の長い歴史から客観的に見る目、異文化コミュニケーションの立場から相手国、国情を見る目が足りないところからくるものだと思う。

中日両国の間には、漢字、漢語の存在、儒教、仏教の影響など、同とみなすものが多々にある。呉越同舟、四面楚歌、朝三暮四など、漢字と東洋文化の共有がその典型的な例である。一方、もてなしの方法、あやまりの習慣など異とみなすものも多く存在している。そして「同」と捕らえ、実に「異」だ、「異」と思われるものは本当は、「同」だという現象が多く存在している。自国の「同」「異」のとらえ方にこだわり、自国の「当たり前」の価値観、ものを見る目が形成される。これは、相手国への好感度が下がる要因の一つである。

異文化コミュニケーション (Cross-cultural Communication) とは、「文化的背景を異にする存在同士のコミュニケーション」のことである。中日両国はかつて文化的にそれこそ価値観が近い国、経済的に補完しあう国、友好交流の実績があった国同士である。

自国の「同」と「異」のとらえ方ではなく、相手のとらえ方は？他の国から見る目は？中日も歴史、文化、国情が違うという異文化の国だと見る必要がある。共通な文化基盤を認めると同時に誤解、偏見、こだわりを乗り越えてともに 21 世紀の中日共存の関係を築くべきである。特に互いの「同」「異」の存在を認めつつ国民同士のコミュニケーションを図るべきである。

長年の中国での日本語教育の実践、中日交流の実例から、国民同士の「同」、「異」を考え、活発な中日異文化コミュニケーションをアピールしたい。

講師略歴 :

1957 年瀋陽市生まれ。天津外国語大学元学長。

中国教育部外国語教育指導委員会日本語分委員会主任、中国日本語教学研究会会長、中国翻訳協会副会長。1975 年 8 月高卒後農村に下放したのち、1978 年十年ぶりに復活した大学入試で遼寧師範大学日本語学科入学、卒業後、天津外国語大学日本語、日本文化研究科修士コース入学、修了後同大学の助手、助教授、教授をへて 1999 年 10 月同大学学長。「基礎日本語の語彙」、「総合日本語」など著書または編集、監修の辞書、教科書多数。「北の国から」、「生涯教育の道程」などのテレビドラマ、著書を翻訳。「江戸末期の寺子屋教育の発生と変化」、「現代日本語のテンスとアスペクト」など論文多数。中国国家教学成果賞二等賞受賞。国家級ブランド講義担当者。



札幌大学孔子学院
062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1

道民カレッジ連携講座

〔演題、講演要旨、講師紹介〕2018年度孔子学院連続講座～現代中国の経済と社会を知る～

第2回 平成30年6月1日(金)16:30～

演 題 : 訪日中国人観光客の動向を探る
講 師 : 平井 貴幸
(札幌大学女子短期大学部 助教)



講演要旨:

近年、日本ではインバウンド観光(諸外国からの旅行者を受け入れる観光)に関する議論が活発化している。その背景の一つとして、外国人観光客誘致による経済振興が地域経済に様々な効果を与えると認識されてきたことが挙げられる。

1990年代までの日本のインバウンドは、アウトバウンド観光(日本人が諸外国へ渡航する観光)の規模に比して非常に小さなものであった。しかし、2000年ころから、インバウンド観光促進のための様々な政策が展開され、インバウンド数は2000年からの10年間で倍増し、2013年に1,000万人、2016年に2,000万人を突破した。2020年の東京オリンピックに向けて、さらなる増加が見込まれている。

本講座では、急増するインバウンドのなかでも中国人観光客に焦点をあて、関連する統計データを整理し、その動向を示す。

講師略歴:

1981年北海道に生まれる。2003年札幌大学経済学部経済学科卒業。

2005年札幌大学大学院経済学研究科地域経済政策専攻修了。

2011年東京国際大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。

東京国際大学国際交流研究所研究員。

2017年より札幌大学女子短期大学部助教。

主要な研究分野は、経済発展と観光政策の関連性についての実証分析。

2017日中経営フォーラムにて発表(2017/10/28、於:広東外語外貿大学)

2018中日マクロ経済政策と産業政策に関する国際シンポジウムにて発表

(2018/3/20、於:中国社会科学院財経戦略研究院)

2018孔子学院連続講座～現代中国の経済と社会を知る～ 参加申込書

以下の各欄に必要事項を記入の上ご送付ください。 ※FAX / E-mail添付可

FAX : 011-852-9362

E-mail: su-koshi@ofc.sapporo-u.ac.jp

ふりがな		年齢	性別
氏名		歳代	男・女
孔子学院 会員番号	※有効期限をお確かめください (一般会員) cisg: (学生会員) ciss:		
※1 住所	〒		
電話番号※2	—	—	
FAX※3	—	—	
E-mail ※4	@		
道民カレ シ番号	(お持ちの方)		

※1～4: 札幌大学孔子学院現・旧受講生・会員の方は、お名前と会員番号(あるいは電話番号)を記入頂けましたら、※1～4の各情報は不要です。

↓ 必ず希望する講座に丸を付けてください

	(1) 平成0年5月14日(月)10:40	修 剛 氏 (天津外国語大学教授、元学長)
	演 題 「中日異文化コミュニケーション—同と異のとらえ方」	
	(2) 平成30年6月1日(金)16:30	平井 貴幸 (札幌大学女子短期大学部助教)
	演 題 「訪日中国人観光客の動向を探る」	